

【6.6.2.4】米国における特許を対象にした侵害防止調査

Q

自社で開発した商品を米国で販売したい。特許侵害で訴えられることは避けたいが、どうしたら良いか？

1) 調査ツールの選択

米国における特許は、米国特許商標庁（以下、USPTO）が提供する PatFT、AppFT、世界知的所有権機関（以下、WIPO）が提供する PatentScope や欧州特許庁（以下、EPO）が提供する Espacenet などに収録されている。いずれのツールも十分な収録状況であり、また高機能な検索機能が備わっているが、ここでは高度な論理検索（KW などの AND 検索や OR 検索）ができること、HIT した文献を日本語に翻訳する機能があることなどを考慮し、WIPO の PatentScope を利用した事例を紹介する。

2) 検索事例

PatentScope の検索画面は下記 URL から接続することができる。日本語版以外にもモバイル版、英語版、ドイツ語版、中国語版、韓国語版など複数のインタフェースが用意されている。また、検索画面には 4 つの検索モードが用意されているので目的に合わせてモードを選択する。

<https://patentscope.wipo.int/search/en/search.jsf>

◆ 検索モードの紹介

簡易検索：フルテキストや氏名(名称)など 8 種類の検索フィールドから 1 つを選んで検索を行う。

詳細検索：検索ボックスに検索語、検索式、フィールドコードなどを指定した検索構文を入力して、複数の条件を組み合わせた検索を行う。

構造化検索：発明の名称や要約など複数の検索フィールドでそれぞれ検索条件を指定し、それらの条件を組み合わせた検索を行う。

多言語検索：入力した検索用語を自動的に 12 言語に翻訳し、その全てを使って特許文献の検索を行う。



今回は、複数の検索項目を設定でき、より目的に近い検索ができることから「構造化検索」モードを選択した事例を紹介する。

◆調査目的および調査対象

調査対象例として下記の調査目的および開発技術を設定した。

調査目的：自社で以下の技術を開発した。米国において特許出願をしたいので先行技術を確認する

<自社開発技術>

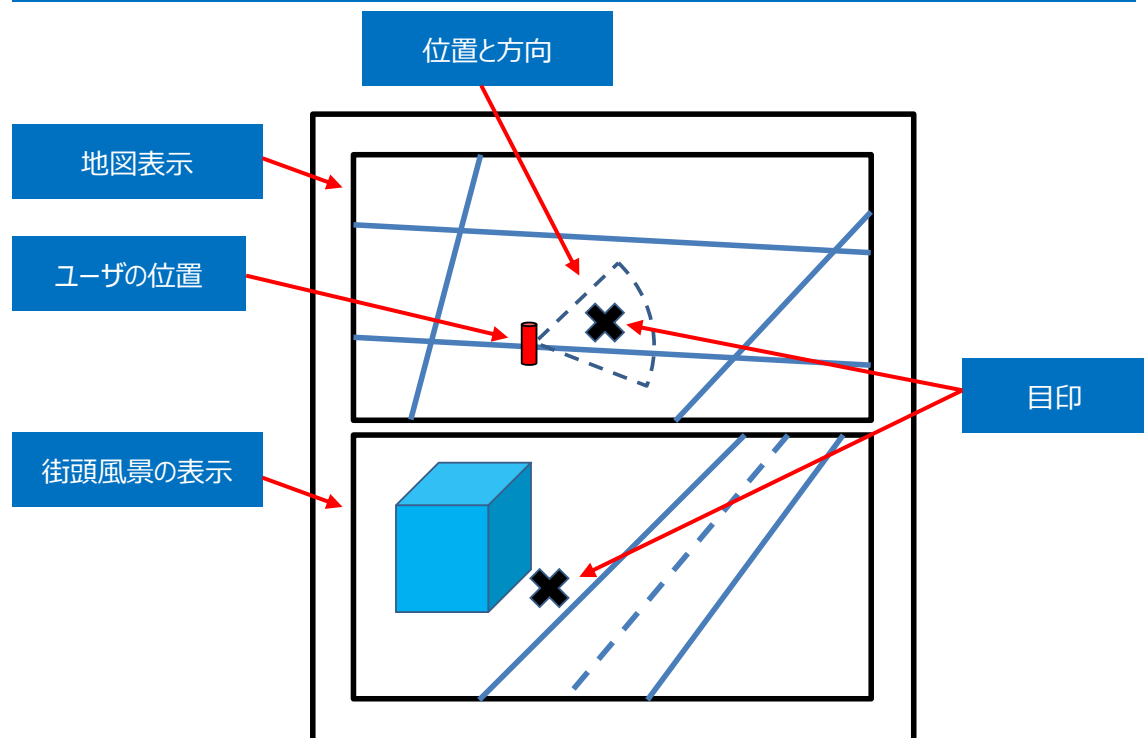
主な主題：「地図表示のグラフィカルユーザインタフェース」

[コンセプト]

- ・スマートフォンなどの携帯端末で地図を表示する際のグラフィカルユーザインタフェースにおいて、地図表示と通りからの街頭風景の表示（以下、街頭風景の表示）（3次元表示）との2画面表示であり、地図表示と街頭風景の表示がリンク（連携）表示することで地図表示と街頭風景の表示の関係をわかり易くしている。
- ・また、地図上のユーザの位置から観察した対象物に目印を付けることが可能であり、目印が地図表示と街頭風景の表示との両方の表示に反映されることで目印の位置をわかり易くしている。
- ・街頭風景の表示とは、ある地点における通りを含む街並みを擬似的、若しくは画像にて再現した表示形式を意味する。

[装置の主な構成]

- ①地図表示と街頭風景の表示との2画面構成
 - ・地図表示と街頭風景の表示が同時に表示される
- ②地図表示と街頭風景の表示とがリンク（連携）表示している
 - ・地図表示での特定された位置と方向が街頭風景の表示に反映表示される
- ③地図上の対象物に目印を付ける
 - ・目印が地図表示と街頭風景の表示との両方の表示に反映される



◆予備検索・準備編

調査を行う前に、該当技術に対応する特許分類の選定や、適切な技術用語を設定しておく必要がある。技術用語については、単純な英訳ではなく、同義語や上位概念も含め、適切な KW を設定する必要がある。

①該当技術に対応する特許分類の特定

特許分類の定義や周辺の特許分類は独立行政法人工業所有権情報・研修館が提供する「特許情報プラットフォーム J-PlatPat」の「パテントマップガイダンス (PMGS)」を利用することで参照できる。

https://www5.j-platpat.inpit.go.jp/pms/tokujitsu/pmgs/PMGS_GM101_Top.action

J-PlatPat のパテントマップガイダンス(PMGS)の画面のタブで「キーワード検索」を選択し、検索する特許分類として IPC を選択し、「キーワード」の欄に例えば【ユーザインタフェース】と入力し、「検索」ボタンを押す。ヒットする中に、以下の様に IPC:G06F3/048 にグラフィカルユーザインタフェースに相当すると思われる分類があった。G06F3/048 をクリックすると分類定義一覧が表示されるので、前後の分類や上位階層の分類を参照する。今回の事例の場合、「地図用のグラフィカルユーザインタフェース」を設定しているため、G06F3/048～3/0489 を選択する。

・ 3/046 (2006.01)	・・・電磁的手段によるもの [8]
・ 3/047 (2006.01)	・・・組みになっているワイヤを用いるもの、例. 交差ワイヤ [8]
・ 3/048 (2013.01)	・・・グラフィカルユーザインタフェース (GUIs) に基づく相互作用技術 [8, 2013.01]
・ 3/0481 (2013.01)	・・・表示された相互作用対象の特定の特性、またはメタファベースの環境に基づくもの、例. ウィンドウまたはアイコンのようなデスクトップ要素との相互作用、あるいはカーソルの挙動や外観の変化によって補助されるもの [2013.01]
・ 3/0482 (2013.01)	・・・選択可能な事項のリストとの相互作用、例. メニュー [2013.01]
・ 3/0483 (2013.01)	・・・ページにより構成された環境との相互作用、例. 本のメタファ [2013.01]
・ 3/0484 (2013.01)	・・・特定の機能または操作の制御のためのもの、例. オブジェクトやイメージの選択または操作、パラメータ値の設定、範囲の指定 [2013.01]
・ 3/0485 (2013.01)	・・・スクロールまたはパン [2013.01]
・ 3/0486 (2013.01)	・・・ドラッグ・アンド・ドロップ [2013.01]
・ 3/0487 (2013.01)	・・・入力デバイスによって提供される特定の特徴を利用するもの、例. 2つのセンサを備えたマウスの回転によって制御される機能、または入力デバイスの性質を利用するもの、例. デジタイザが感知する圧力に基づくタップ動作 [2013.01]
・ 3/0488 (2013.01)	・・・タッチスクリーンまたはデジタイザを利用するもの、例. ジェスチャによるコマンド入力 [2013.01]
・ 3/0489 (2013.01)	・・・専用のキーボードのキーまたはそれらの組合せを利用するもの [2013.01]
・ 3/05 (2006.01)	・・・一定の時間間隔でのアナログ量のサンプリングを用いるデジタル入力 (抽出保持装置 G11C27/02)

②技術用語の特定（英語）

日本語の KW に対して考えられる英語の KW を設定し、そのうえで、さらに上位概念の KW や同義語などを検討し、検索に用いる英語の KW を特定する。

発明（構成要件）	日本語KW	英語KW	検討する事項、他のKW等
特徴 1（KW1）	地図	map	
特徴 2（KW2）	通り	street	他の表現も検討→「道路」、「街路」
	道路	road	
	街路	avenue	
特徴 3（KW3）	位置	position	他の表現も検討
		location	
	方向	direction	他の表現も検討→「方位」
	方位	orientation	
	目印	mark	

<検索方針>

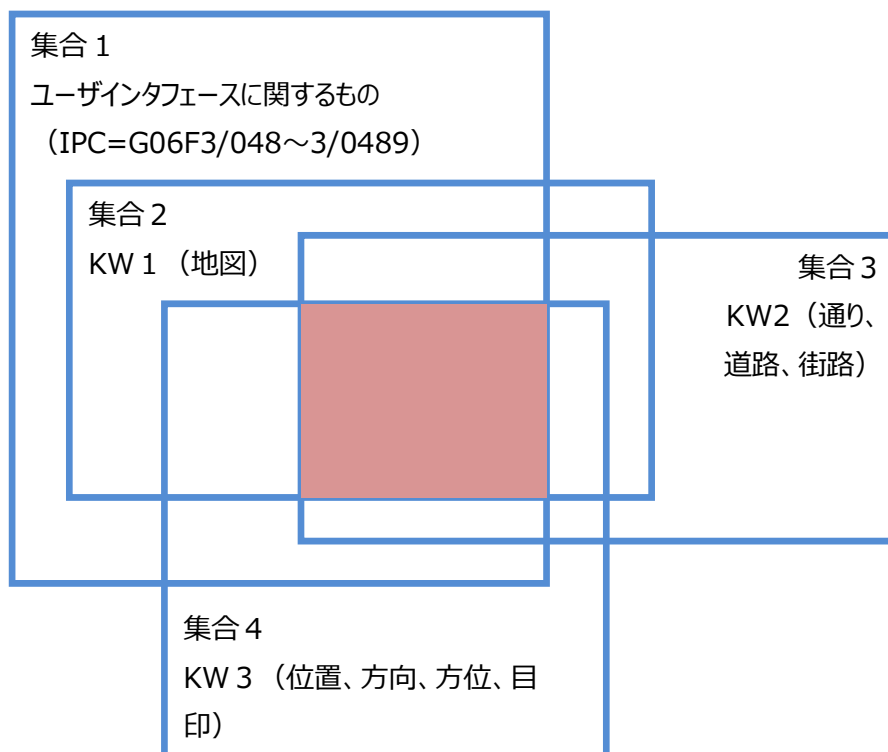
主題を包含する特許分類：G06F3/048

KW1：Map

KW2：Street or Load or Avenue

KW3：Position or Location or Direction or Orientation or Mark

検索式＝US and IPC and KW1 and KW2 and KW3



◆実践編

検索対象とする特許分類および KW を設定したので、PatentScope にアクセスし米国特許に対する検索を行う。まず検索モードとして「構造化検索」を選択し、検索言語を「英語」に変更する¹。これにより、英語で収録されている情報、特に要約や請求項など明細書本文のテキスト情報に対し検索できるようになる。今回は検索式に英語の KW を使用するため、この手順が必要となる。言語を指定したら、左側のプルダウンメニュー（どの行でも良い）から「国名（国コード）」を選択し右側の検索ボックスに【US】を、「請求の範囲（英語）」を選択し前述のKW1～3を、「国際特許分類」に【G06F3/048】を入力する。最後に優先日などの日付の限定を行う。表記は、欧州スタイルの dd.mm.yyyy を括弧 [] でくくった形となる。例えば、「1997 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日」の範囲を入力したい場合は、【[01.01.1997 to 31.12.2016]】と入力する。to の両側にはスペースが必要である。日付については検索インタフェースが日本語モードでも欧州スタイル（日月年）なので注意が必要である。基本的に侵害防止調査の場合、調査を実施する時点から逆算して 20 年間を優先日の期間限定の条件とする²。

なお、この事例では検索項目として請求の範囲を選択しているが、全文を指定することも可能である。ただし全文検索の場合にはノイズが増えることもあるため、HIT 件数などを確認しながら選択すると良い。

¹ PatentScope はテキスト情報が原語で収録されている。そのため KW 検索において検索言語を適切に設定する必要がある。英語以外の KW で検索する場合には、画面左下の「言語」を入力する言語にあわせるか「全言語」を指定する必要がある。本書では言語を英語に設定する手順を紹介している。

²特許の権利期間は出願から 20 年であるため。

この状態で「検索」をクリックすると、以下のような検索結果が表示される。

WIPO PATENTSCOPE 国際・国内特許データベース検索

検索結果: 1 - 10/34 件 検索条件: CTR:US AND EN_AB:map AND EN_AB:(street or road or avenue) AND EN_AB:(position or location or direction or orientation or mark) AND IC:G06F3/048 官庁: all 言語: EN 語幹処理: true

絞り込み検索: CTR:US AND EN_AB:map AND EN_AB:(street or road or avenue) AND EN_AB:(position or

結果分析

並び替え: 関連性 View: 詳細表示 表示件数: 10 自動翻訳

国際特許分類	出願番号	発明の名称	出願人	センター	公開日
1. 20160290820	G01C 21/36	Method of displaying point on navigation map	Alpine Electronics, Inc.	US	06.10.2016
09182895	G01C 21/00	Displaying representative images in a visual mapping system		US	10.11.2015

Abstract for 1. 20160290820: A method and an apparatus of displaying a point on a map of route guidance includes receiving an entry of a user, determining a point based on the entry of the user, determining an address number of the point, retrieving map data indicating a road segment which includes the address number of the point from map information storage, estimating a position of the location based on the street address number of the point and position data of the road segment, and displaying the point with an icon at the estimated position on the map. While estimating the position of the point, a side of the street at which the point is located is estimated and a shape of the icon graphically indicates a direction corresponding to the side of the street at the estimated position.

検索を実行すると要約とともに一覧形式で HIT 文献が表示される。自動翻訳機能を使えば表示内容を日本語にすることもできる。詳しい内容が知りたいときは左側の「公開番号」をクリックする。その特許の書誌情報、請求項、図面などの情報が得られ、さらに明細書本文も確認することができる。これらの請求項や明細書本文のテキスト情報についても自動翻訳機能を利用することができる。

国際特許分類	出願番号	発明の名称	出願人	センター	公開日
1. 20160290820	G01C 21/36	ナビゲーション地図上のポイントを表示する方法	Alpine Electronics, Inc.	US	06.10.2016
09182895	G01C 21/00	視覚マッピングシステムに代表画像を表示します		US	10.11.2015

Abstract for 1. 20160290820: 方法および上の点を表示する装置地図経路案内のは取得ポイントのアドレス番号を決定し、ユーザの入力に基づいてポイントを決し、ユーザの入力を受信することを含む地図を示すデータ、道路セグメントをします点のアドレス番号含ま地図情報記憶、推定位置の位置に基づいて、ストリート点とのアドレス番号位置のデータ道路セグメントを、推定でアイコンでポイントを表示する位置にマップを。推定しながら、位置点のを、側面ストリート点がされた位置推定され、アイコンの形状がグラフィカルに示している方向の辺に対応するストリート推定で位置を。

これらの HIT 文献を 1 件ずつ確認していくと、以下のような公報を見出すことができる。

[←](#) [↑](#) [→](#) [🔍](#) [自動翻訳](#)

[国内書誌情報](#) [明細書](#) [請求の範囲](#) [図面](#) [書類](#)

パーマリンク/ブックマーク: [🔗](#)

6. (US20140053077) Integrating maps and street views

出願番号: 14110705 出願日: 10.04.2012
 公開番号: 20140053077 公開日: 20.02.2014
 特許番号: 09280272 特許付与日: 08.03.2016
 公報種別: B2
 PCT 関連事項: 出願番号: PCTUS2012032941 ; 公開番号: クリックしてデータを表示

IPC:
 G01C 21/36
 G09B 29/00
 G06F 3/00
 G06F 3/0485
 G06F 3/0484
 G06F 3/0481
 G06T 3/00

出願人:
 Sreejit Unnikrishnan
 Google Inc.
 Arijit De
 Lalitesh Kumar Katragadda
 Vihari Komaragiri

発明者:
 Sreejit Unnikrishnan
 Arijit De
 Lalitesh Kumar Katragadda
 Vihari Komaragiri

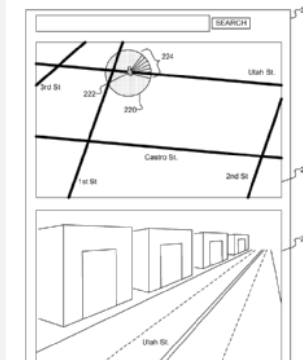
代理人:
 Fenwick & West LLP

優先権情報:
 1287/CHE/2011 12.04.2011 IN

発明の名称:
 (EN) Integrating maps and street views

要約:
 (EN)

Methods and systems for improved integration of an overhead representation (e.g., a map) with a street view representation. A user interface with at least two regions is output for display to a user. One region includes an overhead representation of an area and an interactive control overlaid onto the overhead representation. Another region includes a street view perspective that has a point of view corresponding to a position and directional orientation of the interactive control. Information about a user input that adjusts the interactive control is received and the street view perspective is updated to track the control as it is adjusted. The field of view of the street view perspective may be reflected in the appearance of the interactive control. Additionally, the street view perspective may follow the location of a marker as it is moved around the overhead representation.



<請求の範囲の構成要件>

A 地図表示とストリート表示との 2 画面構成

B 地図表示とストリート表示とがリンク（連携）表示している

C 地図上の対象物に目印を付ける

この画面では、本特許の書誌事項が表示されているが、タブを切り替えることで明細書本文、請求項、図面などにアクセスすることができる。なお、PatentScope ではパテントファミリーを表示させることはできない。

この特許は、地図表示とストリート表示の 2 種類の表示をおこなっており、このストリート表示は自社技術の「通りからの街頭風景の表示」と同様の表示を行っている。自社の製品の構成要件①～③を包含する内容（上記開示内容の A、B、C）が記載されていることがわかった。つまり、製品をそのまま輸出した場合、この特許を侵害してしまう可能性がある。したがって、仕様や構成要件の変更などにより、この特許を

回避する必要がある。

◆まとめ

以上のように、自社の開発製品の構成要件（技術的特徴）を検索式に組み込み、HIT した公報の内容（特に請求の範囲）を確認することで、開発製品に近い内容を特許請求している特許を把握することができる。

製品を販売する前に侵害防止調査を実施すれば、特許侵害で訴えられる事態を未然に防ぐことができる。

特許の権利は、特許請求の範囲（別の表現では請求項あるいは Claim）に記載されている内容であるため、侵害防止調査は、基本的には請求項を対象に判断する。そのため、本書では KW 検索を請求の範囲に対しておこなっている。しかしながら請求項は上位概念化された語や特殊な言い回しが用いられることも多い。そのため検索時の漏れを防ぐために、請求項に限定した KW 検索だけではなく、要約あるいは全文を対象とした KW 検索を実施することが望ましい。

◆さらに漏れを防止した検索を希望するときは、**請求項**以外も対象にする（要約あるいは全文も対象とする）

◆査読するときは、請求項を対象にする

Point

検索時の漏れを防ぐために、請求項に加え要約や全文も検索対象とすることが望ましい。

侵害の可能性については請求項の内容を検討する必要があるため、内容の近い特許が見つかった場合には、必ず請求項を確認する。

PatentScope はテキスト情報が原語で収録されているので検索をする際には検索言語の指定および KW の言語設定を適切に行うことが重要である。